

PT・OT・STが「離床」を 基礎から実践まで深く理解するためのセミナー in 横浜

講師 角田 賢史 先生

湘南藤沢徳洲会病院理学療法士
北里大学医療衛生学部卒業
北里大学大学院医療系研究科医学専攻修了（医学博士）
認定（脳卒中）理学療法士



「離床」のための基礎知識

臥床や離床が生体にどのような影響を与えるかを理解するためのセッションです。

脳も肺も心臓も内分泌も…、臥床や離床に伴う生体反応は全域が関連し、連動し、反応します。したがって、それぞれの項目を分けて理解するやり方には限界があります。

このセッションでは臥床に伴う生体反応を、そして離床に伴う生体反応を、運動器、脳血管、呼吸器、循環器に分けて学びつつ、それぞれの領域がどのように関連、連動するかについて着目しながら学びます。

また、離床の前提となる「開始基準」や「中止基準」について理解するとともに、その基準が設定された理由や原理原則についても学びます。

「離床」の実践

「離床」を臨床で評価し、実践するためのセッションです。

離床を成功させるために、具体的にどのような臨床評価が必要か、評価の結果をどのように解釈するか、その解釈からどのように方針を立てるか、実際の離床をどのように導くか、この一連を学びます。

呼吸器、脳卒中、整形外科、循環器の離床の実践例を通して、その実際を学びます。

実践例を通して、広い視野や、総合的に判断する思考力や、わずかな変化に気づく鋭い視点、つまり離床を実践する能力を学びます。

離床に関するエビデンスはかなりたくさん報告されていますが、少なくとも、重要と思われるエビデンスやガイドラインについては、離床に関わる療法士なら一定の理解をしておく必要があります。これらを解説します。早期離床・リハビリテーション加算の概要と必要事項についても学びます。

セミナー内容

対象：PT / OT / ST

- ①なぜ早期離床を学ぶ必要があるか
- ②早期とは？離床とは？
- ③臥床（安静）の影響（廃用、循環器、呼吸器、消化器、骨格筋、骨関節への影響）
- ④早期離床の開始基準、中止基準、早期離床を行うべきでない場合
- ⑤早期離床の有害事象を理解する
- ⑥実際、国内外でどの程度実践されているのか
- ⑦集中治療（安静）が引き起こすさまざまな症候群PICS、ICU-AWとは何か（頻度や影響や対策）
- ⑧集中治療後の認知障害（CIACIとは何か）、せん妄との関係
- ⑨せん妄対策としてのABCDEバンドル

- ⑨せん妄対策としてのABCDEバンドル
- ⑩メンタルヘルス障害の原因とリスク
- ⑪不安やうつに対する対策
- ⑫家族の状態の評価と対策（PICS-Fという考え方）
=====
- ⑬離床に必要な評価（循環動態、人工呼吸器、薬、採血データ、胸部レントゲン、心エコー、CAG、心電図、尿量やin-outバランス、疼痛評価、関節可動域、上位運動ニューロン、協調性、意識状態、鎮静のレベル、せん妄、その他の身体機能）
- ⑭実践例を通して動態の変化を見る（呼吸器の離床）
- ⑮実践例を通して動態の変化を見る（脳卒中の離床）
- ⑯実践例を通して動態の変化を見る（整形外科の離床）
- ⑰実践例を通して動態の変化を見る（循環器の離床）

日時

2025年2月9日（日） 10:00～16:00（9:30受付開始）

ウイリング横浜10階介護実習室1 横浜市港南区上大岡西1-6-1

受講料 13,000 円（3名以上でお申込みの場合は11,000円/人）



ウイリング横浜

お申し込みは **Webサイト** で賜ります

ナレッジリンク

検索

<https://www.knowledgelinkreha.com>



ナレッジリンクHP